

MBニュース100号記念特別号

この度7月号をもちましてMBニュースは100号となりました。この事を祝して、特別号を発刊することに致しました。今後も正確で最新の情報を発刊して参りますので、引き続きご愛読の程お願い申し上げます。

【国内工場沿革】

丸松物産株式会社

戦後丸松物産当初国内工場は東京都世田谷区にありましたが、その後の業務拡大に伴い、昭和47年山形県上山市市長より工場誘致の要請もあり、メンマ製品・調理食品・農水産缶詰等を製造する国内工場を操業しました。現在では、同じ上山市内に平成7年1万坪の第二工場を新設し、主力商品であるメンマ製品はもちろんのこと、かつては山菜原料が中心であった調理食品も、現在では地元産原料を使用する調理食品も増加しております。また、平成26年「ISO22000:2005」の認証を受け、日々更なる安心・安全な製品を製造すべく、社員一同社業に邁進しております。



【中国工場沿革】

メンマの発祥地である台湾は、原料である麻筍生育のシーズンには、必ずと言っていいほど台風の被害を受けていました。また台湾自体も都市化・工業化によりメンマ栽培地と加工する農家・加工業者が年々減少していたため、台湾麻筍栽培地である中南部の嘉義竹山・梅山と同じ緯度(北回帰線)にあり、麻筍の生育に必要な、高温多湿気候である広東省清遠市に麻筍を植えつけ栽培指導を行い、1992年丸松物産中国工場「松徳豊食品公司」を設立致しました。操業当時は乾燥メンマの一次加工を行う工場でありましたが、2002年に「ISO9001:2000」、2008年に「HACCP」の認証を受けた工場となり、現在では乾燥メンマに留まらず、メンマ製品・銀杏製品・ザーサイ製品等の総合食品の重要な供給基地となっています。



【商社機能】

現在では当たり前のように輸入が可能な「麻筍」「なめこ」「マッシュルーム」「さくらんぼ」「ふくろ茸」等の缶詰ですが、戦後から現在まで中国現地の農家・工場に赴き、開発・技術指導を行い、製品として日本へ輸出を可能にした先駆者であります。また中国だけに留まらず、台湾・タイ国・ベトナム・南アフリカ等諸外国においても、それぞれの農産缶詰について現地指導・協議を重ね日本へ輸入を開始した製品も数多くあります。また最近では、海外での和食ブームもあり、当社工場の和食調理食品の輸出量が年々増加しております。



【事業所】

丸松物産株式会社 本社 TEL03-3419-1611
〒155-0033 東京都世田谷区代田1丁目47-2丸松ビル
北海道出張所 TEL011-299-2416
〒001-0045 北海道札幌市北区麻生町4丁目9-5
東北営業所 TEL023-673-5511
〒999-3100 山形県上山市新北浦3番地
関西営業所 TEL06-6304-7234
〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目11-10
九州営業所 TEL092-414-9788
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目4-23

